



名前

日付

月

日

答え合わせのポイント・・・自分に厳しく行おう😊

①答え合わせは色ペンで行うこと ②間違いはその場で訂正すること ③点数の記入は不要

例文中の傍線部を和訳しなさい

▼例文

- 1 51 箏箏の笛の音はやかましくて、うたて近くでは聞きたくない。
- 2 52 人気のない荒れた家には、すごき悪霊がいる気がする。
- 3 53 山里のすさまじき夕暮れは何となく悲しい感じだ。
- 4 54 かしこきお言葉をいただき、かたじけなく存じます。
- 5 55 大臣になれる力がありながら、大納言どまりとはくちをし。
- 6 56 関白はほっそりとなまめかしく、身を整えていらっしゃる。
- 7 57 姫君は見た目も心根も立居ふるまいもこころにくく見える。
- 8 58 「別れの涙は不吉だから、ねんじなさいませ」と人々が言う。
- 9 59 すきずきしき心のある人々が集まって桜の花見に行く。
- 10 60 こちらから手紙を出すと、翌朝とく返事が来た。
- 11 61 かなしき子の病気を治すために、薬を探し求めた。
- 12 62 はづかしき人の質問に答えることができたのはうれしい。
- 13 63 中国に“鳳凰”ということごとしき名のついた鳥がいる。
- 14 64 なつかしく話せる人がいないので、寂しさを歌に詠む。
- 15 65-1 気位の高い女であったが、あながちに言い寄ると結婚した。
- 16 65-2 男が眠り込んでしまったのを女はせめて起こして帰らせる。
- 17 66 人はあまりにうるはしくしすぎると、その状態を保つのが難しい。
- 18 67 髪がゆったりとしてたいへん長く、めやすき人である。
- 19 68 人目しげきところなので、夜の明けないうちに女の家を出た。
- 20 69-1 ねむごろに誘ってくださるので強く拒むわけにもいかない。
- 21 69-2 ねむごろに交際していた友だちに手紙を書いた。
- 22 70-1 夜中に人の呼ぶ気配がするので「あやし」と思って見た。
- 23 70-2 私はあやしき田舎者になってしまったが、父は大臣だった。
- 24 71-1 娘はまだ幼くて、結婚するなどとはわりなきことだ。
- 25 71-2 どうすれば忘れられるのか、昼も夜も恋しくてわりなし。

▼現代語訳

- 1 いやで
- 2 ぞっとする
- 3 ぞっとする(殺風景な・物寂しい)
- 4 畏れ多い
- 5 残念だ
- 6 優雅だ・優美だ
- 7 奥ゆかしい
- 8 我慢する
- 9 風流好みである
- 10 早く
- 11 愛しい・かわいい
- 12 立派な
- 13 仰々しい
- 14 親しみを感じて
- 15 強引に
- 16 強引に
- 17 きちんと美しく整え(几帳面に)
- 18 見た目がよい・見た感じがよい
- 19 多い
- 20 熱心に
- 21 親しくする
- 22 不思議だ・奇妙だ
- 23 身分が低い・みすばらしい・田舎臭い
- 24 無理な
- 25 どうしようもない・しかたがない

- 26 72-1 倭約令を発布の折、大臣であっても華美な衣装はびんなし。
- 27 72-2 女が悲しい顔をするので、「びんなし」と思って別れられない。
- 28 72-3 雨の日に縁側に上がると足型がついてふびんに汚くなる。
- 29 72-4 病が重く息づかいも苦しそうなので、見ていてふびんなり。
- 30 73-1 みなすっかり寝込んで、いびきを かたはらいたくする者もいる。
- 31 73-2 苦手な和歌を人前で詠まされるのはかたはらいたし。
- 32 74-1 「ちょっと」と言って中座したが、やがて立ち去った。
- 33 74-2 「会いたい」と手紙を出すと、やがて彼が訪ねて来た。
- 34 75-1 今日「久しぶりに会いに行く」と夫からせうそこがあった。
- 35 75-2 声高くせうそこを告げるが、だれも応対に出てこない。

26 不都合だ

27 気の毒だ

28 不都合で

29 気の毒だ

30 見苦しく

31 恥ずかしい

32 そのまま

33 すぐに

34 連絡・手紙

35 挨拶・訪問
